

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山岸和幸
	全体計画						経費区分		-		内線	3115
事務事業名	4039 職員互助会助成事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	07024600 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020108 総務費・総務管理費・職員厚生費										
	事業	020000 職員互助会助成事業										
事業目的						事業概要・効果						
地方公務員法第42条に基づく職員の保健、その他厚生に関する事項を実施するため、須坂市職員互助会を設置し、職員の福利厚生等の向上を図る。						職員互助会へ負担金を支出し、職員互助会で職員厚生事業、文化活動事業、体育事業等を行った。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
職員互助会へ次の支出を行った。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金	職員互助会へ次の支出を行った。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金
平成24年度 実績	平成25年度 実績
職員互助会へ次の支出を行った。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金	職員互助会へ次の支出を行った。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金
平成26年度 予定	平成27年度 予定
職員互助会へ次の支出を行った。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金	職員互助会へ次の支出を行った。 ①19市職員体育大会参加負担金 ②職員体育活動負担金 ③職員文化活動負担金 ④職員厚生事業負担金

指標名	インフルエンザ予防接種補助人数の拡大				
算式	インフルエンザ予防接種補助人数				単位 人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績	141	132	160	176
指標選定の理由	職員の疾病予防の充実のため				
最終年度目標の根拠	25年度補助人数の20%増				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績	9	9	18	20
指標選定の理由	職員の疾病予防の充実のため				
最終年度目標の根拠	25年度補助人数の20%増				
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		1,073	1,606
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	239	200
一般財源		834	1,406
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,057.4	2,057.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,057.4	2,057.4
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,130.4	3,663.4

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,073	職員互助会負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,606	職員互助会負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 直接的に市民サービスにつながらないが、地方公務員法第42条に基づく職員の保健、その他厚生に関する事項を実施するため、必要である。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	職員の福利厚生として必要な役割を果たしているか図る基準が難しい。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 事業を行わないなどして、負担金を減らす方法もあるが、職員の福利厚生の充実の観点からも再度、検討したい。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 職員互助会の事業は個人への給付(弔慰金、退職慰労金、人間ドック・インフルエンザ助成、リフレッシュ促進補助)については、職員からの会費で賅っている。 各種クラブへの助成、職員の福利厚生事業(バスツアー、リフレッシュツアー等)へは公費を負担しているが、今後、これらの事業の実施について26年度、会員に対しアンケートを行う。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
職員の福利厚生事業や、施設整備積立金の適切な運用について研究が必要である。		効果的な事業運営について適切な指導と助言が必要である。	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント